



飛鶴の森林から

第54号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り
組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。



2011・国際森林年

夏休み親子国有林観察ツアー ～パイロットフォレスト「森を歩く」～

7月31日(日)、根釧西部森林管理署と当センターが主催(共催:釧路総合振興局外管内の市町村)し、標茶町と厚岸町にまたがる国有林「パイロットフォレスト」において、「夏休み親子国有林観察ツアー～パイロットフォレスト 森を歩く～」を行いました。各市町村から集まった小学生の親子41名が参加して、「飾り炭作り」、「森を歩いて写真撮影と写真立ての飾り付け」、「望楼見学」を行いました。

飾り炭作りでは、パイロットフォレストの林内から集めたアカエゾマツ・カラマツの球果(松ぼっくり)、クルミの実などを素材に炭作りを行いました。親子たちは本当に炭になるのか半信半疑の様でしたが、思い思いの素材を選んで窯入れをしました。

森を歩いて写真撮影では、日ごろ花や風景を撮影し写真教室に通われている高橋氏と浄土氏を講師に迎え、撮影の基礎を学びながら撮影を行いました。また、撮影したお気に入りの一枚を飾る写真立てに、松ぼっくり、クルミの実や木の枝を飾り付け、自分だけのオリジナル写真立てを作成しました。

望楼見学では、広大なカラマツ林の展望を楽しんだり、写真立てに飾る写真を撮っていました。



←お気に入りの一枚を求めて



飾り付け ↑



飾り炭の窯出し ↑



↑ 出来上がった写真立て



↑ 出来上がった写真立てを持って記念撮影

木工工作 「つるっと! タンチョウ」

8月6日(土)、釧路市子ども遊学館が行っている夏休み期間中(7月23日~8月17日)のイベント「のってけ☆夏っこ!」に参加しました。

当センターでは、親子で一緒に行う木工工作に講師を派遣し、主に釧路湿原に生息する国の特別天然記念物であるタンチョウ親子の置物作りを行いました。

当日は、釧路市子ども遊学館が募集した小学生とその親27名が参加し、糸ノコ盤・小型のノコギリを使用して、用意されたトドマツの板からタンチョウの親子の型抜きを行い、紙ヤスリで角の部分や表面をみがいて「つるっと」した手触りになるよう仕上げました。また、お母さんとの参加が多く、初めてつかう糸ノコ盤に苦労していましたが、約3時間の作業時間終了時にはほぼ完成することができました。

今回の木工工作は、地元の木材や身近にいる動物に親しみながら、親子での共同作業を行ったことで、夏休みの楽しい一日になったことと思います。

← 糸ノコ盤で型抜き



↑ つるっと!



↑ 完成品

↓ できたぞ~!



京都大学見学実習支援

8月8日(月)、京都大学農学研究科森林・林業政策学の川村准教授及び学生(二回生)6名が、国有林内における釧路湿原の保全と管理の実態並びに周辺における森林資源管理の現状を知るための見学実習を行いました。

当センターでは、根釧西部森林管理署の協力を得て標茶町御卒別国有林で行われている間伐作業地、パイロットフォレスト及び当センターが実施している雷別自然再生事業地の3箇所で見学実習の支援を行いました。

間伐作業地では、実際に作業を行っている業者が使

用している「ハーベスタ」や「プロセッサ」などの高性能林業機械による実演と説明をしていただきました。

パイロットフォレストでは、造成時の苦労や現在までの地域への貢献、今後の働きなどの説明を行いました。

雷別自然再生事業地では、釧路湿原上流部で行っている森林再生事業の取組状況を説明しました。

今回参加した学生の皆さんは、林業が社会に貢献した役割や自然再生事業における様々な課題について学んだことと思います。



林業機械の実演 ↑



パイロットフォレストの歴史 ↑



森林再生事業の説明 ↑



2011・国際森林年

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533

FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp